土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川太田川水系榎川支川11外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor-7	調査位置	広島県安芸郡府中町山田四丁目外	北緯	34° 23' 49.5965"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月14日～ 令和3年 1月18日	東経	132° 31' 36.5449"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 120.04m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270°西 90°東 180°南
総削孔長	4.00m	地盤勾配	26° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-0C / エンジン：ヤンマー NFD12 / ポンプ：東邦地下工機BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	119.74	0.30		砂		淡褐			未固結の粗粒砂からなる。	0.40
1	119.04	1.00		シルト混り砂		灰			未固結のシルト混り砂。細粒分が多く、粘性を帯びる。	0.83
	118.34	1.70		礫混り砂		褐灰	rd5		密実な礫混り砂。径5～50mm前後の風化礫を混入。	
2				花崗岩		淡褐灰			花崗岩の風化部(軟岩相当)。岩組織を残すが、ハンマー打撃で濁音を発して砕ける程度。深度方向へ次第に固結する。深度3m付近より片～柱状コア。深度3.7m以深、岩片硬質。	
3										
4	116.04	4.00				淡灰				
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.15	13	20	17	50	240	
	1.39			40	240		
50以上	2.05	23	18	9	50	260	
	2.31			60	260		
50以上	3.00	50			50	50	
	3.05	50			50		
50以上	4.00	貫入不能			50	0	
					0		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				1/15